

訳：

ガリレオのように、ニュートンは理論と方法論を実験や現実世界の観察と比較することの重要性を強調し、そして、可能なきはいつでも、自分の考えを試すため関連のある実験を自分自身で常に行った。この姿勢は今日の科学的方法論の一部として深く根付いているため、科学者でない人にとってさえはっきりしているように思われ、また、17世紀に入ってもなお、哲学者たちは実験で自分たちの手を汚す事さえ無く、抽象的なやり方で自然世界の本質を熟考したのだが、それがどの程度まで及んでいたのかを正しく理解するには骨が折れる。古典的な例は、同じ高さから同時に落とされた2つの異なるおもりが同時に地面に落ちるかどうかに関する議論である。

採点基準（目安）

- ・ガリレオのように、ニュートンは理論と方法論を実験や現実世界の観察と比較することの重要性を強調し
- ・そして、可能なきはいつでも、自分の考えを試すため関連のある実験を自分自身で常に行った。
- ・この姿勢は今日の科学的方法論の一部として深く根付いているため、科学者でない人にとってさえはっきりしているように思われ
- ・また、17世紀に入ってもなお、哲学者たちは実験で自分たちの手を汚す事さえ無く、抽象的なやり方で自然世界の本質を熟考したのだが、それがどの程度まで及んでいたのかを正しく理解するには骨が折れる。
- ・古典的な例は、同じ高さから同時に落とされた2つの異なるおもりが同時に地面に落ちるかどうかに関する議論である。